

取扱説明書

通信可能なセンサーとコントローラの調整ソフトウェア

PACTware/DTM Collection
10/2025

インストール、ファーストステップ



Document ID: 28243



VEGA

目次

1 本文書に関して 3

1.1 機能 3

1.2 対象 3

1.3 本文書で使用する記号 3

2 安全にご使用いただくために 4

2.1 取り扱うことができる要員 4

2.2 規定に従って使用 4

2.3 誤使用に対する警告 4

2.4 一般的な安全上の注意 4

2.5 環境に関する注意事項 4

3 製品の説明 5

3.1 構成 5

3.2 PACTware/FDT/DTMとは? 5

3.3 VEGA-DTM 5

4 ソフトウェアインストール 7

4.1 動作環境 7

4.2 PACTware と DTM のインストール 7

4.3 DTM更新 8

5 操作 9

5.1 PACTware スタート 9

5.2 プロジェクトの生成 9

5.3 プロジェクトの例 11

5.4 パラメータ設定 (同期運転) 14

5.5 パラメータ設定 (非同期運転) 16

6 メンテナンスと故障の修理 20

6.1 メンテナンス/更新 20

6.2 故障を除去する 20

7 PACTware/VEGA-DTMのアンインストール 21

7.1 アンインストールの工程 21

7.2 廃棄物処理 21

8 付録 22

8.1 システム要件 22

8.2 EULA für Setup des/der VEGA DTMs 22

1 本文書に関して

1.1 機能

本取扱説明書には取り付けと試運転に必要な情報が書かれています。セットアップ前にこの説明書を読んでデバイス近く of のいつでも取り出せる場所に保管してください。

1.2 対象

この取扱説明書は、訓練を受けた専門の担当者を対象としています。この説明書の内容は、有資格者がアクセスでき、実施されなくてはなりません。

1.3 本文書で使用される記号



文書 ID

本説明書の表紙にあるこのアイコンは、文書IDを示しています。
www.vega.com に文書IDを入力すると、文書のダウンロードページが開きます。



情報、ヒント、注意事項

このアイコンは有用な追加情報を表します。



注意: この警告を守らないと、故障や誤動作を引き起こす原因になります。

警告: この警告を守らないと、怪我や機器の損傷につながる可能性があります。



危険: この警告に従わないと、重大な人身事故や機器の破壊につながる可能性があります。



目的外使用

このアイコンは特に目的外使用に対する注意を表します。



SIL-アプリケーション

このシンボルは安全関連アプリケーションで特に注意すべき機能安全の注意事項を表示しています。

- リスト
先行する点は、必須の順序がないリストを示します。
- 行動のステップ
この矢印は個々の行動ステップを表します。
- 1 行動の帰結
先行する数は相互に続く行動のステップを示します。

2 安全にご使用いただくために

2.1 取り扱うことができる要員

この文書に記載されている作業はすべて必ず研修を受け承認を受けた専門作業員のみが実行するようにしてください。

2.2 規定に従って使用

PACTware (Process Automation Configuration Tool) は製造者とフィールドパスに依存しない全てのタイプのフィールドデバイスの調整ソフトウェアです。VEGA が納品したDTM (Device Type Manager) と共に適用するVEGA-デバイスを操作します。

2.3 誤使用に対する警告

不適切にあるいは間違っ使用した場合はPACTwareを設定したデバイスから特性の危険が発生します。例えば間違っ取り付け、調整、設定によるタンクオーバーフローや設備の損害などです。結果として物的、人的損害、環境汚染が発生します。

2.4 一般的な安全上の注意

インストールと使用は自己責任において実行します。欠陥による間接損害には責任を負いません。

2.5 環境に関する注意事項

自然の生活基盤を保護することは最も緊急性をもった課題の一つです。そのため、産業環境保護を継続的に改善することを目的とした環境管理システムを導入しました。環境管理システムはDIN EN ISO 14001に従って認証されます。

この要求に応えられるようにサポートしてください。

3 製品の説明

3.1 構成

納品内容

配達内容は次のものから構成されます：

- DTMコレクション：
 - Microsoft .NET Framework
 - 現行のPACTware-バージョン
 - 現在利用できる全てのVEGA-DTM
 - Codewrights GmbHのHART-プロトコルドライバ
 - ICS GmbHのGeneric HART-DTM
 - Softing Profibus DTM
- 取扱説明書 インストール、ファーストステップ

3.2 PACTware/FDT/DTMとは？

PACTware

PACTware (プロセスオートメーションコンフィギュレーションツール)は製造者とフィールドバスに依存しない全てのタイプのフィールドデバイスの調整ソフトウェアです。このオープンフリー利用の支援プログラムはインターフェース仕様FDT 1.21/2.0/3.0を経由して該当するフィールド機器メーカーのDTM (Device Type Manager)に接続されます。このようにフィールド機器を操作するためには機器タイプに適合する個々のフィールド機器メーカーが開発、販売するDTMが必要になります。

FDT

FDT (Field Device Tool) は標準化されたDTMと例えばPACTwareなどのフレームアプリケーションの相互作用を記述するインタフェース記述です。FDTは異なるDTMと支援プログラム間のデータ交換を制御します。

DTM

DTM (デバイスタイプマネージャー)はオリジナルのセンサとフィールドコンポーネントの調整モジュールです。DTMはセンサタイプの全てのデバイス特定のデータと機能を有し、調整のために全てのグラフの要素とダイアログを提供します。DTMは独立した実行可能なソフトウェアではありません。使用できるようにするためには例えばPACTwareのような支援プログラムが必要です。

DTM Collection

VEGA DTMコレクションはソフトウェアのパッケージです。パッケージには VEGA-DTMを伴ったPACTware そして異なるスタンダード-通信-DTMが含まれています。DTMコレクションは全ての現時点で納品可能で通信可能なVEGA-センサーのための調整ソフトウェアです。さらに全ての通信可能なVEGAMET-シリーズのコントローラ及び全ての PLICSMOBILE-シリーズのワイヤレス通信ユニットを付属するDTMを使ってフルに操作することができます。

Bluetooth-ドライバが表示および調整モジュール PLICSCOMのようなBluetooth-対応のVEGA-デバイスとの無線通信を可能にしてくれます。Bluetooth-モジュールを内蔵していないPCにはVEGA-Bluetooth-USB-アダプタを入手することができます。

同じようにUSB-接続経由のModbus-拡張によるVEGA-センサーのパラメータ設定もフルサポートされています。Modbusを使ったパラメータ設定に関してはさらにModbus-CommDTMがパッケージに含まれています。

3.3 VEGA-DTM

VEGA-DTMには全てのセットアップに必要な機能が含まれています。シンプルなプロジェクトの設定にはアシスタントを使うと操作がとても簡単になります。

さらに完全なデバイス記録文書の拡張印刷機能そしてタンク容積計算プログラムが含まれています。加えてフルバージョンではソフトウェア"DataViewer"

を使用することができます。Data Viewerは全てのサービス記録で保存された情報の快適な表示および分析を提供してくれます。

DTMコレクションは無償でホームページからダウンロードできます。

使用許諾契約はVEGA-DTMを任意に好きなだけコピーし任意に多数のコンピュータで使用することを許可しています。エンドユーザ-使用許諾契約(EULA)の全文はこの説明書の付録に記載されています。

VEGA は200以上のデバイスタイプに個々のDTMを提供しています。これらは全て共同のセットアッププログラムでインストールされます。

4 ソフトウェア-インストール

4.1 動作環境

動作環境はこの説明書の終わりにある付録に記されています。



メモ:

注意してください。インストールには管理者権限が必要です。インストール後はインストールを完了するためにWindowsの新規スタートが必要です。このようなことからWindowsの登録をもう一度同じユーザーがインストール時と同様に実施しなければなりません。

4.2 PACTware と DTM のインストール

1. インストールを実施する前に作動中の全てのプログラムを終了してください。
2. DTM Collectionのダウンロードには圧縮されたZIP-ファイルがダウンロードされます。Z解凍後ファイル"autorun.exe" をダブルクリックしてインストールを開始してください。

インストールアシスタントが現れまず初めに希望する言語を選択します。この選択はインストール後に再度任意に変更することができます。

次のウィンドウには "スタンダード" か "ユーザ定義" 選択の画面が表示されます。スタンダードインストールではVEGA-デバイスに必要なコンポーネントのみインストールされます。"ユーザ定義" を選択すると続くウィンドウで使用可能なDTM-パッケージを個々に選択することができます。

その後 "インストール" ボタンで実際のインストールプロセスをスタートしてください。



メモ:

インストールにはMicrosoft .NET Frameworkが必要です。インストールアシスタントが自動的に.NET、PACTware と VEGA-plics-DTM が既にインストールされているかどうかチェックします。インストールされている場合は該当するウィンドウでマークされ新規に再インストールされることはありません。



図 1: インストールアシスタント - 言語選択

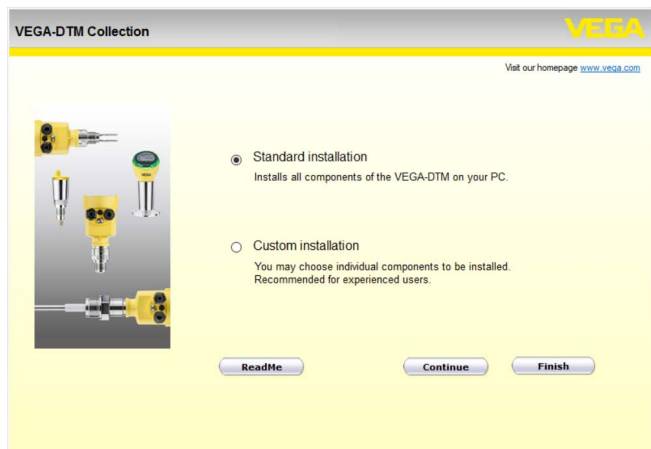


図 2: インストールアシスタント - スタンダード/ユーザ定義

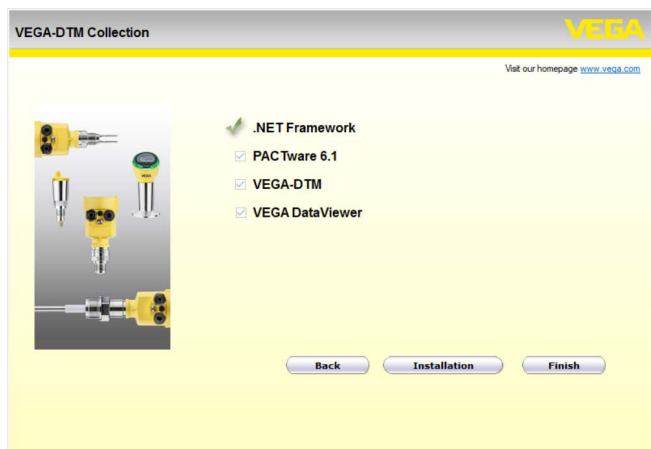


図 3: インストールアシスタント - コンポーネント選択

4.3 DTM更新

VEGA-DTM は常に開発を進めており、新しいデバイス向けに、これまで存在しなかった新しい DTM が提供されています。年に 1 回から 2 回、すべての DTM が新しい DTM コレクションにまとめられ、公開されます。この DTM コレクションを再度ダウンロードし、インストールアシスタントを使用して更新された/新しい DTM をインストールすることができます。

または、PACTware アップデートサービスを利用することもできます。デバイス管理では、フィルターを使用して新しい DTM や更新された DTM を表示し、PACTware から直接インストールすることができます。詳細については、PACTware オンラインヘルプをご覧ください。

5 操作

5.1 PACTware スタート

PACTwareをスタートするとまず初めにホーム画面が表示されます。スタンダード設定ではユーザ名やパスワードの入力は必要ありません。アクセス保護や異なるユーザアクセスレベルを希望する場合は "設定" アイコンの "ユーザ管理" で管理者パスワードを取得します。こうすることにより様々なユーザーに異なるレベルを与えることができ対応するパスワードを割り当てることができます。

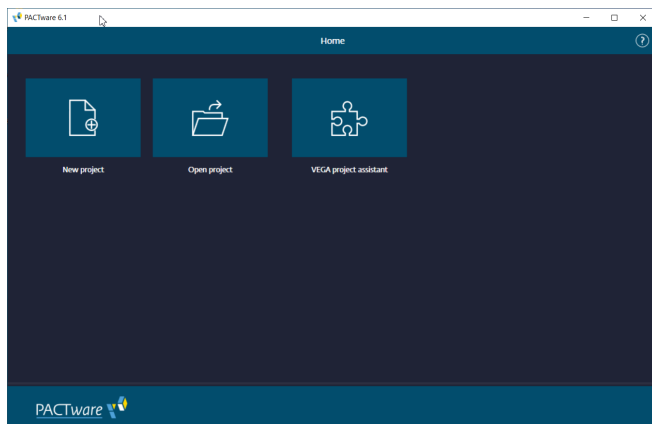


図 4: PACTware ホーム画像



情報:

全てのデバイス機能がサポートされていることを確保するために常に最新のDTMコレクションを使用するようにしてください。さらに説明された全ての機能が常時古いファームウェアバージョンにあるわけではありません。多数のデバイスにおいては最新のデバイスソフトウェアをホームページからダウンロードします。デバイスソフトウェアの伝送はPACTware経由で実施されます。更新手順の説明も同様にインターネットで入手できます。

5.2 プロジェクトの生成

全てのフィールド機器タイプの調整の起動点はPACTware-プロジェクトにおける一部あるいは全ての完全なデバイスネットワークのイメージングです。このデバイスネットワークは自動的にあるいはマニュアルで生成できプロジェクトウィンドウに表示されます。

プロジェクトを自動的に生成

希望するデバイスへの接続はメーカー特定の拡張モジュール "VEGA-プロジェクトアシスタント"で実行します。このモジュールは全てのVEGA-DTM-インストールパッケージに含まれていて自動的に一緒にインストールされます。このアシスタントのサポートで接続されているデバイスは自動的に識別されPACTware-プロジェクトに組み込まれます。このために必要なのは相当するデバイスのオンライン接続だけです。

"VEGA-プロジェクトアシスタント"は直接ホーム画像からアクセスできます。起動させた後はまず最初に希望するプロジェクトの自動生成のインターフェースを選択します。ボタン "スキャンスタート" を選択するとデバイスの検索を開始してすぐに検知された全てのデバイスがリストアップされます。希望したデバイスを選択したらデバイスが自動的にプロジェクトウィンドウに取り込まれます。

その他のVEGA-プロジェクトアシスタントの使い方に関する詳細情報は付属のオンラインヘルプを参照してください。これらは直接"VEGA-プロジェクトアシスタント"のウィンドウからオープンすることができます。

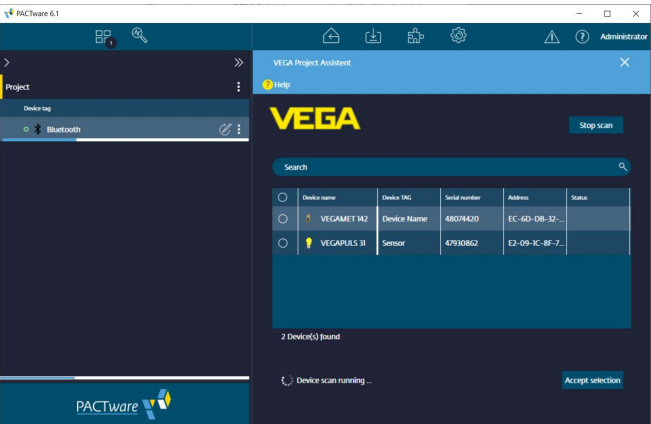


図 5: プロジェクトアシスタント

プロジェクトマニュアル生成

パラメータを設定するデバイスがまだないあるいは接続されていない場合でもプロジェクトはマニュアルで設定できます(Offline-モード)。ホームスクリーンの"新規プロジェクト"に移動するとデバイスカタログに使用できるインターフェース-DTMが表示されます。希望するインターフェースを選択したら該当するDTMが自動的にプロジェクトウィンドウに取り込まれこのインターフェースで使用するデバイス-DTMがデバイスカタログに表示されます。ここで使用するデバイスに適したデバイス-DTMを選択することができてプロジェクトウィンドウに取り込むことができます。

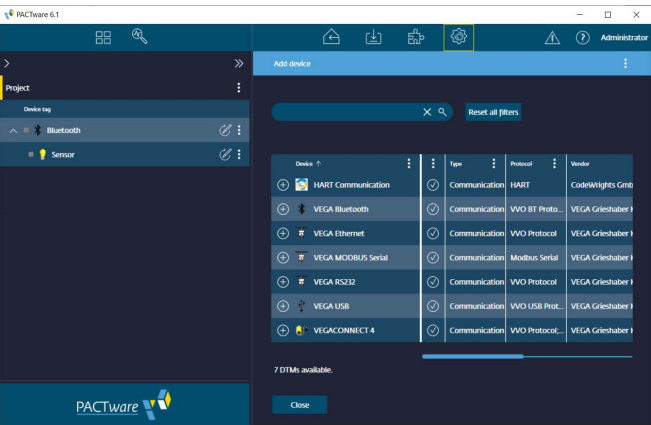


図 6: プロジェクトマニュアル生成

5.3 プロジェクトの例

VEGA-センサのプロジェクト生成

VEGACONNECT経由のセンサ接続

次の例は例えばPLCに接続されたセンサの典型的なプロジェクトです。"VEGA-プロジェクトアシスタント"の使用を推奨します。アシスタントを使うことによりプロジェクト生成が明らかに容易に実施できてエラーも回避できます。参与するコンポーネントは自動的に検索されプロジェクトに組み込まれます。

このプロジェクト計画がそれでも例えばオフライン-プロジェクトの生成などマニュアルで実施される場合は次のDTMをプロジェクトツリーに付け加えます。:

1. ホーム画像で "新規プロジェクト" を選択するとデバイスカタログに全てのインターフェースオプションが表示されます。自動的にプロジェクトフェンスタに移動できるように"VEGACONNECT 4"-DTMを選択してください。同時にデバイスカタログにVEGACONNECT でアクセスできるデバイスのリストが表示されます。
2. 希望するセンサをリストから選択して(この例では VEGAPULS 6X) プロジェクトウィンドウに移動させてください。そして接続状態に関する "HART" か "I2C"かを選択する質問が続きます。VEGACONNECT が直接センサに取り付けられていたら "I2C"のタイプを選択します。4 ... 20 mA-ケーブルを介して接続している場合は "HART" タイプを選択します。
3. プロジェクトウィンドウのセンサをダブルクリックしてDTMをオープンし希望する設定を実施してください。"パラメータ設定"の章を御参照ください。設定を即時にセンサに移動できない場合はプロジェクトを後の時点でセンサに移動できるように忘れずに保存してください。

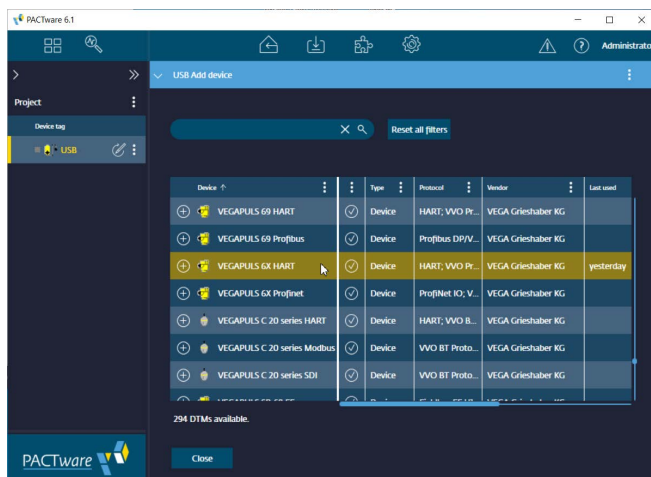


図 7: VEGAPULS のプロジェクト

Bluetooth-通信経由センサのプロジェクト生成

Bluetooth経由センサ

次の例は内蔵されたBluetooth-モジュールで接続しているセンサの典型的なプロジェクトです。

センサとの通信にはPCに内蔵されたBluetooth-モジュール (Bluetooth LE) が使用できます。代替としてBluetooth-USB-アダプタが入手できます。

"VEGA-プロジェクトアシスタント"の使用を推奨します。アシスタントを使うことによりプロジェクト生成が明らかに容易に実施できてエラーも回避で

きます。参与する全てのコンポーネントは自動的に検索されプロジェクトに組み込まれます。

このプロジェクト計画がそれでも例えばオフライン-プロジェクトの生成などマニュアルで実施される場合は次のDTMをプロジェクトツリーに付け加えます。:

1. ホーム画像で "新規プロジェクト" を選択するとデバイスカタログに全てのインターフェースオプションが表示されます。自動的にプロジェクトフェンスタに移動できるように"VEGA Bluetooth"-DTM を選択してください。同時にデバイスカタログにVEGA Bluetoothでアクセスできるデバイスのリストが表示されます。
2. 希望するセンサをリストから選択して (この例では VEGAPULS 42) プロジェクトウィンドウに移動させてください。
3. プロジェクトウィンドウのセンサをダブルクリックしてDTMをオープンし希望する設定を実施してください。"パラメータ設定"の章を御参照ください。設定を即時にセンサに移動できない場合はプロジェクトを後の時点でセンサに移動できるように忘れずに保存してください。
4. センサとOnline-接続を確立しなければならない場合はセンサのBluetooth-MAC-アドレスが必要でBluetooth-DTMに保管しなければなりません。これを実行するためにプロジェクトツリーのBluetooth-DTMを右のマスタボタンでクリックして "その他の機能 - DTM-アドレス 変更"を選択してください。次のウィンドウでBluetooth-MAC-アドレスを入力して保存できます。

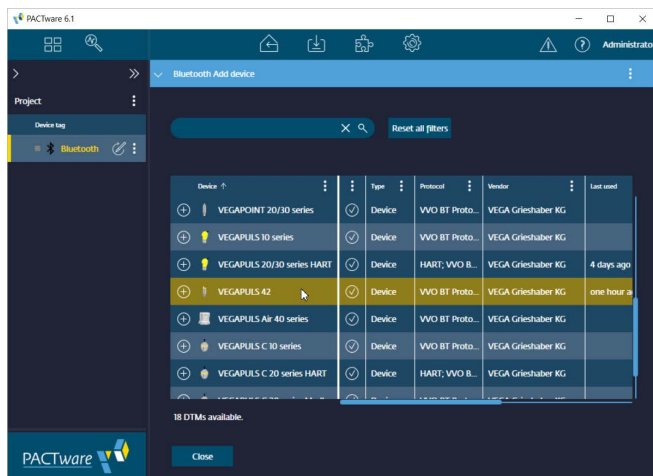


図 8: Bluetooth経由センサのプロジェクト

VEGAMET 391センサのプロジェクト生成

VEGAMET 391 USBで接続

次の例は例えばVEGAMET 391 に接続されたセンサの典型的なプロジェクトです。VEGAMET 391 への通信はこの例の場合USBを経由して実行します。"VEGA-プロジェクトアシスタント"の使用を推奨します。アシスタントを使うことによりプロジェクト生成が明らかに容易に実施できてエラーも回避できます。参与する全てのコンポーネントは自動的に検索されプロジェクトに組み込まれます。

このプロジェクト計画がそれでも例えばオフライン-プロジェクトの生成などマニュアルで実施される場合は次のDTMをプロジェクトツリーに付け加えます。:

1. ホーム画像で "新規プロジェクト" を選択するとデバイスカタログに全てのインターフェースオプションが表示されます。自動的にプロジェクトフェンスタに移動できるように "VEGA USB"-DTM を選択してください。同時にデバイスカタログに直接VEGA USBでアクセスできるデバイスのリストが表示されます。
2. 希望するセンサをリストから選択して (この例では VEGAMET 391) プロジェクトウィンドウに移動させてください。プロジェクトウィンドウの VEGAMET 391 をクリックしてください。デバイスカタログに VEGAMET に接続できる全てのセンサがリストアップされます。
3. 希望するセンサをリストから選択して (この例では VEGAPULS WL 61 HART) プロジェクトウィンドウに移動させてください。
4. VEGAMETまたはプロジェクトウィンドウのセンサをダブルクリックしてDTMをオープンし2つのセンサの希望する設定を実施してください。"パラメータ設定"の章を御参照ください。設定を即時にセンサに移動できない場合はプロジェクトを後の時点でセンサに移動できるように忘れずに保存してください。

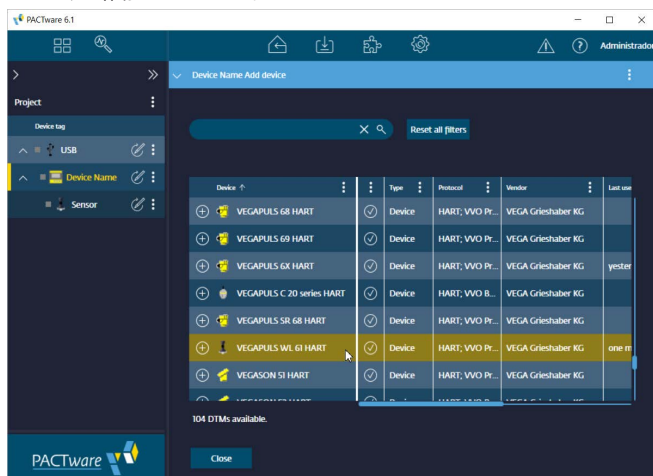


図 9: VEGAMET 391 USB と VEGAPULS のプロジェクト

VEGAMET 624 とセンサのプロジェクト生成

VEGAMET 624 イーサネット
で接続

次の例は例えば VEGAMET 624 に接続されたセンサの典型的なプロジェクトです。VEGAMET 624 への通信はこの例の場合ネットワークとイーサネットを経由して実行します。"VEGA-プロジェクトアシスタント"の使用を推奨します。アシスタントを使うことによりプロジェクト生成が明らかに容易に実施できてエラーも回避できます。参与する全てのコンポーネントは自動的に検索されプロジェクトに組み込まれます。

このプロジェクト計画がそれでも例えばオフライン-プロジェクトの生成などマニュアルで実施される場合は次のDTMをプロジェクトツリーに付け加えます。:

1. ホーム画像で "新規プロジェクト" を選択するとデバイスカタログに全てのインターフェースオプションが表示されます。自動的にプロジェクトフェンスタに移動できるように "VEGA-イーサネット"-DTM を選択してください。同時にデバイスカタログに直接VEGA-イーサネットでアクセスできるデバイスのリストが表示されます。
2. 希望するセンサをリストから選択して (この例では VEGAMET 624) プロジェクトウィンドウに移動させてください。プロジェクトウィンドウの

VEGAMET 624をクリックしてください。デバイスカタログにVEGAMETに接続できる全てのセンサガリストアップされます。

- 希望するセンサをリストから選択して(この例では VEGAPULS C20 HART) プロジェクトウィンドウに移動させてください。
- プロジェクトツリーの"VEGA-イーサネット"-DTMを選択してください。右のマウスキーでメニュー項目の"その他の機能 - DTM-アドレス変更"を選択してください。"新規アドレス"のフィールドに後に実際に運転したときにVEGAMETが取得するIP-アドレスがホスト名を入力してください。
- VEGAMETまたはプロジェクトウィンドウのセンサをダブルクリックしてDTMをオープンし2つのセンサの希望する設定を実施してください。"パラメータ設定"の章を御参照ください。設定を即時にセンサに移動できない場合はプロジェクトを後の時点でセンサに移動できるように忘れずに保存してください。

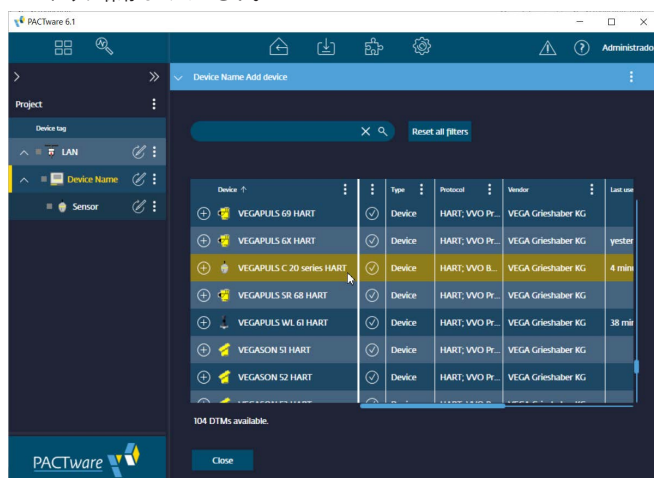


図 10: VEGAMET LAN と VEGAPULS のプロジェクト

5.4 パラメータ設定 (同期運転)

同期運転のパラメータ設定においてDTMではインスタンスデータ ーすなわちDTMに保存されたデーター が常時持続してデバイスデータとして維持されます。このことを実現するために接続設定の際に原則的に完全にデバイスのデータセットが読み取られDTMのインスタンスデータにコピーされます。この運転タイプはVEGA-DTMの標準挙動です。

プロジェクトが設定されたら希望するデバイスのパラメータ設定ができます。設定はプロジェクトウィンドウの希望するDTMをダブルクリックするが右のマウスボタンで"パラメータ"を選択して実施します。

次の手順はオフラインとオンラインの運転で異なります。

オフライン-運転

オフライン-運転ではプロジェクトはデバイスを接続しないで準備、生成、保存します。後にこれらのデータをオンライン-運転で運転準備を完了したデバイスに伝送します。

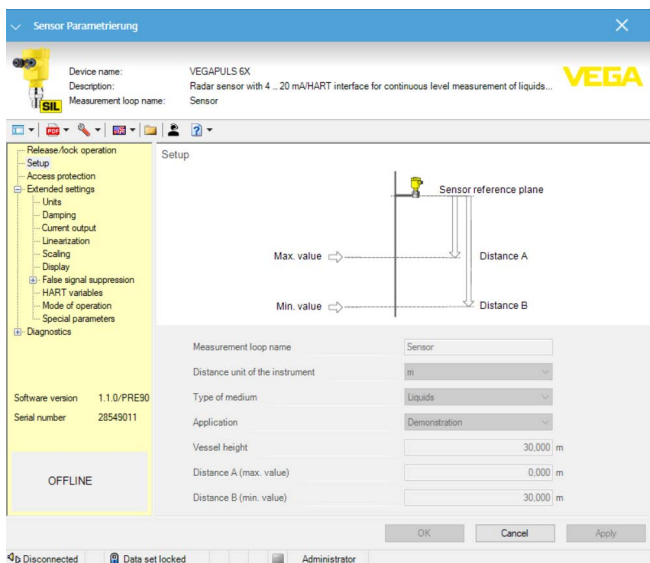


図 11: DTM-表示 セットアップ VEGAPULS 6X Offline-運転 (同期化)

オンライン-運転

オンライン運転ではパラメータ設定するデバイスは接続されていて運転準備が完了していません。右のマウスボタンで該当するDTMを選択してコマンド"接続"を選択するとオンライン-運転の準備が整います。DTMをダブルクリックすると通信、デバイスタイプ、その他のパラメータをチェックする接続設定が実施されます。必要の場合はデバイスの全てのパラメータが自動的に伝送されます。マウス右ボタンと"デバイスからデータ読み込み"で常時デバイスの全てのパラメータをロードできます。実行された全ての変更は OK- が 容認-ボタンを押すと自動的にデバイスに保存されます。

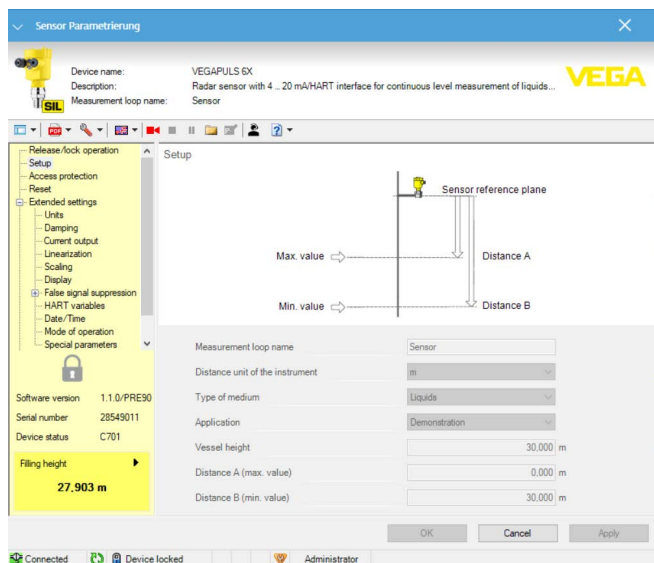


図 12: DTM-表示 セットアップ VEGAPULS 6X Online-運転 (同期化)

右のマウスボタンで該当するDTMを選択してコマンド "接続切断"でオフライン-運転に切り替わります。



情報:

さらに詳細なパラメータ設定とプロジェクト生成に関する説明はPACTwareとDTMのOnline-ヘルプを参照してください。セットアップと正しいパラメータ設定はさらに個々のデバイスの取扱説明書を参考にご覧ください。

5.5 パラメータ設定 (非同期運転)

非同期運転のパラメータ設定においてはインスタンスデータ ーすなわちDTMに保存されたデーター とデバイスデータは別々に保管されます。自動的な調整は実施されません。このような理由からオフライン-運転の DTM-ウィンドウの内容はオンライン-運転のものと全く違うものになります。さらに接続設定の際には原則的に現行のDTMでオープンされているパラメータページのデータのみロードされます。

この運転タイプは特にとてもゆっくりと作動するバスシステム(例、無線 HART) のために考案されました。この運転タイプの起動にはVEGA-DTM Configurator、ファイルカード "Synchronization"を使用してください。

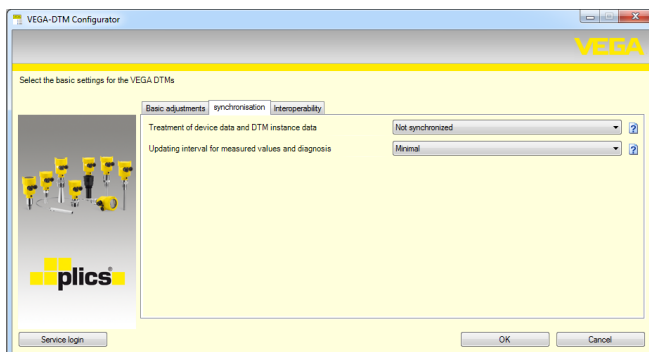


図 13: VEGA-DTM-Configurator: データ同期の設定

VEGA-DTM ConfiguratorはWindows-プログラムグループ VEGA – VEGA-DTM Toolsにあります。ここでOnline-値 (診断- と測定値) の更新周期を設定することもできます。ファイルカードの"Synchronization"の設定は全てのVEGA-DTMのplices@plus-センサの運転に作用します。設定を変更する前にPACTwareを閉じてください。DTMを非同期運転で作動する場合はツールバーに対応する注意事項が表示されます。

プロジェクトを設定したら希望するデバイスのパラメータが設定できます。これはプロジェクトウィンドウの希望するDTMをダブルクリックするか右のマウスボタンで"パラメータ"を選択して実施します。次の手順はオフラインとオンラインの運転で異なります。

オフライン運転 (インスタンスデータを表示)

オフライン運転ではプロジェクトをデバイスに接続することなく準備、設定、保存します。後にこれらのDTM-インスタンスデータはPACTware-メニューの "データをデバイスに書き込む" のサポートで運転準備が完了したデバイスに伝送されます。その前に該当するDTMを右のマウスボタンで選択しコマンド"接続"で接続を実行しなければなりません。

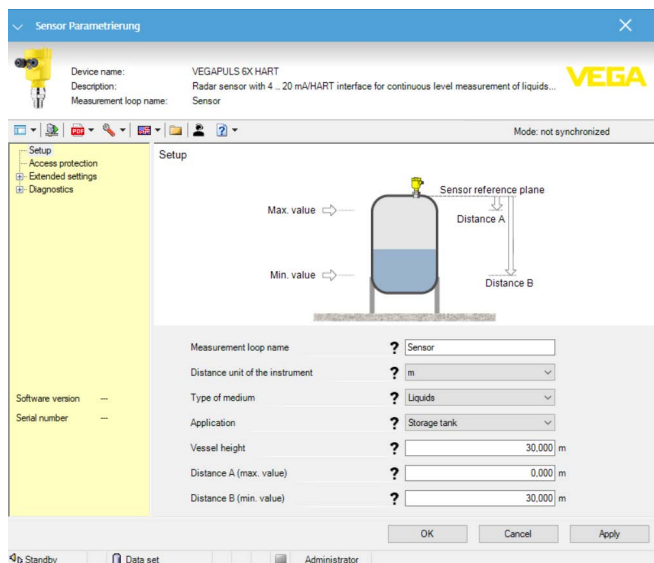


図 14: DTM-表示 VEGAPULS 6X オフライン-運転 (非同期化)

オフライン運転 (デバイスデータを表現)

オンライン運転ではパラメータ設定するデバイスは接続されていて運転準備が完了していません。右のマウスボタンで該当するDTMを選択してコマンド“接続”を選択するとオンライン-運転の準備が整います。DTMをダブルクリックすると通信、デバイスタイプ、その他のパラメータをチェックする接続設定が実施されます。さらにデバイスからオープンしているDTMのページのパラメータが伝送されます。他のパラメータページに変更したときのみ選択されたパラメータページのデータが追加してロードされます。PACTware-メニュー項目“デバイスからデータ読み込み”で常時デバイスの全てのパラメータをロードできます。実行された全ての変更はデバイスからデータ読み込み OK- 承認 -ボタンを押すと自動的にデバイスに保存されます。その際DTM-インスタンスデータは変更されません。

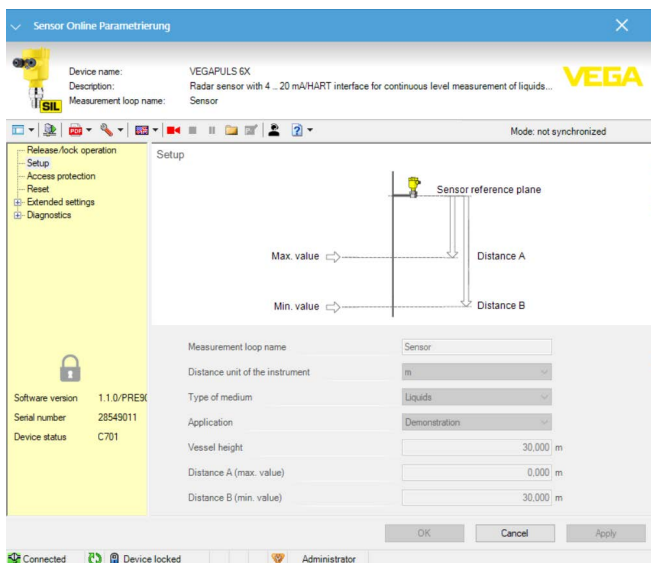


図 15: DTM-表示 VEGAPULS 6X オンライン-運転 (非同期化)

右のマウスボタンで該当するDTMを選択しコマンド"接続切断"を実施するとDTM-パラメータウィンドウの内容が消えて注意事項"オンライン接続必要"が出現します。

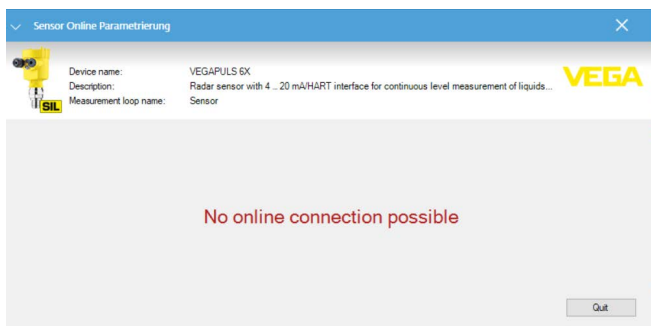


図 16: DTM-表示 VEGAPULS 6X オンライン運転 接続切断 (非同期)



情報:

さらに詳細なパラメータ設定とプロジェクト生成に関する説明はPACTwareとDTMのOnline-ヘルプを参照してください。セットアップと正しいパラメータ設定はさらに個々のデバイスの取扱説明書を参考にしてください。

6 メンテナンスと故障の修理

6.1 メンテナンス/更新

故障の修理や新規機能の組み入れのためにソフトウェアの更新ができるようになっています。新規のセンサタイプには対応できるDTMが最新のDTMコレクションに含まれているのでインターネットでダウンロードできます。VEGAのホームページを御参照ください: www.vega.com.

6.2 故障を除去する

PACTwareとVEGA-DTMではエラー通知ごとに該当する説明が添えられています。

センサで発生してDTMに送信されたエラーメッセージは該当するセンサの取扱説明書あるいはDTMのオンラインヘルプに説明が載っています。

7 PACTware/VEGA-DTMのアンインストール

7.1 アンインストールの工程

PACTwareあるいはDTMコレクションを再度PC から取り出したいときには次の手順で実施してください。:

1. コントロールパネルの項目"アプリと機能"を選択してください (スタート - 設定 -Apps"から到達できます)。
2. リストからエントリ"PACTware"または"VEGA-DTM"を選択してください。そして"アンインストール"ボタンを押してください。
3. アシスタントの指示通りにアンインストールを実施してプロセスをWindows-再起動で終了してください。

7.2 廃棄物処理

記憶媒体及び包装材は専門のリサイクルング会社に依頼して処理してください。

8 付録

8.1 システム要件

ハードウェア	
プロセッサ	CPU 1 GHz かより高性能
メモリー	最小 4 GB RAM あるいはそれ以上
ハードディスク	最小 10 GB 空きメモリ
- インターフェース	Bluetooth/USB/Ethernet
ソフトウェア	
オペレーティングシステム	Windows 10/11 (32/64 Bit)
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 3.5, 4.6.1 と .NET8

8.2 EULA für Setup des/der VEGA DTMs

Nutzungsbedingungen für VEGA Device Type Manager ("Softwareprodukt").

§ 1 Geltungsbereich

Diese Endbenutzer-Nutzungsvereinbarung („EULA“) ist ein rechtsgültiger Vertrag zwischen Ihnen (entweder als natürlicher oder juristischer Person) und der VEGA Grieshaber KG, Schiltach („VEGA“) über die Nutzung des Softwareprodukts. Indem Sie das Softwareprodukt installieren, kopieren oder anderweitig benutzen, erklären Sie sich mit den Bestimmungen dieser Nutzungsvereinbarung einverstanden. Installieren Sie das Softwareprodukt nicht, sollten Sie mit den Bedingungen dieser Nutzungsvereinbarung nicht einverstanden sein.

§ 2 Gegenstand

VEGA Device Type Manager (DTM) besteht aus der eigentlichen Software und der entsprechenden Dokumentation wie Handbuch, Online-Hilfe usw. („Softwareprodukt“). Das Softwareprodukt wird sowohl durch das Urheberrecht und internationale Urheberrechtsverträge geschützt, als auch durch weitere Gesetze und Verträge über geistiges Eigentum. Das Softwareprodukt wird nicht verkauft, sondern nur zur Nutzung überlassen.

§ 3 Nutzungsrechte

- Das Softwareprodukt wird als kostenfreie Version mit vollem Funktionsumfang bezogen.
- Sie sind widerruflich berechtigt, alle ihre Rechte aus dieser Nutzungsvereinbarung dauerhaft zu übertragen. Voraussetzung ist, dass Sie das vollständige Softwareprodukt (einschließlich aller Komponenten, der Medien und des gedruckten Materials) übertragen, und der Empfänger den Bedingungen dieser Nutzungsvereinbarung zustimmt. Sie sind verpflichtet, mit dem Dritten eine schriftliche Vereinbarung zu treffen, die den Bestimmungen dieser Vereinbarung entsprechen. Sie sind für die Beachtung etwaiger Ausführerfordernisse aufgrund aller geltenden Rechtsvorschriften und Anordnungen verantwortlich. Sie stellen VEGA von sämtlichen Ansprüchen Dritter frei, die aus einem Verstoß gegen diese Regelung entstehen.

§ 4 Nutzungseinschränkungen

Die Nutzung des Softwareprodukts erfolgt ausschließlich gemäß der Bedingungen dieser EULA. Sie sind insbesondere nicht berechtigt, die Software (i) zu ändern, anzupassen, zu erweitern, zurückzuentwickeln oder zu übersetzen, (ii) Teile herauszulösen, (iii) oder zu versuchen, den Quellcode abzuleiten oder zu entschlüsseln, (iv) Eigentumsvermerke (einschließlich Urheberrechtsvermerke oder Markenzeichen) von VEGA oder ihren verbundenen Unternehmen oder Partnern zu entfernen, zu verändern oder zu verdecken, oder (v) die Software zu vermieten oder zu verleasen.

§ 5 Verstoß gegen Nutzungsrechte

Ungeachtet anderer Rechte ist VEGA berechtigt, diese Nutzungsvereinbarung zu kündigen und Ihnen die Nutzung des Softwareprodukts zu untersagen, wenn Sie gegen die Bedingungen dieser EULA, insbesondere die vereinbarten Nutzungsrechte und -einschränkungen verstoßen. In diesem Fall sind Sie verpflichtet, alle Kopien des Softwareprodukts und all seiner Komponenten insbesondere der Software-Produktscheine zu vernichten und VEGA darüber Nachweis zu führen.

§ 6 Gefahrenübergang bei elektronischen Kommunikationsmedien

Bei Überlassung von Software über elektronische Kommunikationsmedien (zum Beispiel insbesondere über das Internet) ist der Zeitpunkt des Gefahrenübergangs der Zeitpunkt, bei dem die Software die Sphäre von VEGA verlässt.

§ 7 Mängelhaftung

- Wird das Softwareprodukt auf einem Datenträger von VEGA zur Verfügung gestellt, ersetzt VEGA diesen bei offensichtlichen Mängeln durch ein mangelfreies Exemplar.
- Als Mängel in Bezug auf das Softwareprodukt gelten solche von Ihnen nachgewiesene, reproduzierbare, nicht unerhebliche Abweichungen von der dazugehörigen Dokumentation.
- Eine Nachbesserung erfolgt üblicherweise durch Lieferung oder Bereitstellung eines neuen Produktausgabestandes (Update/Upgrade).
- Die Fehlerdiagnose und die Mängelbeseitigung im Rahmen der Gewährleistung erfolgen nach Wahl von VEGA bei Ihnen (vor Ort) oder bei VEGA. Sie stellen VEGA die zur Mängelbeseitigung benötigten Unterlagen und Informationen zur Verfügung. Erfolgt die Mängelbeseitigung vor Ort, stellen Sie unentgeltlich die benötigte Hard- und Software sowie die erforderlichen sonstigen Betriebszustände mit geeignetem Bedienungspersonal so zur Verfügung, damit die Arbeiten zügig durchgeführt werden können.
- VEGA kann die Vergütung des Prüfaufwandes aufgrund einer Mängelanzeige ihrerseits verlangen, wenn ein Mangel nicht nachweisbar ist.
- Sie haben alle angemessenen Maßnahmen zu ergreifen, weitergehende Schäden zu verhindern oder zu begrenzen, die aus einem Mangel am Softwareprodukt resultieren, insbesondere VEGA den Mangel unverzüglich anzuzeigen und für die Sicherung der eingegebenen und zu verarbeitenden Daten zu sorgen.
- Die Gewährleistungsfrist für Softwareprodukte beträgt 12 Monate. Die Frist beginnt mit dem Zeitpunkt des Gefahrenübergangs.

§ 8 Datenverlust

Bei Beschädigung von Daten durch einen Mangel in der gelieferten Software umfasst die Ersatzpflicht nicht den Aufwand für die Wiederbeschaffung verlorener Daten und Informationen.

§ 9 Ergänzende Regelungen

Die Nutzung des Softwareprodukts unterliegt ergänzend zu den in dieser EULA festgehaltenen Bedingungen den Allgemeinen Lieferbedingungen der VEGA. Diese finden Sie im Internet unter www.vega.com/agb. Im Falle von Abweichungen oder Widerspruch gelten die Bedingungen dieser EULA vorrangig für die Nutzung des Softwareprodukts.

Sollten einzelne Bestimmungen dieser EULA nicht wirksam sein, berührt dies nicht die Wirksamkeit der übrigen Bestimmungen. Die Vertragspartner werden die unwirksame Bestimmung einvernehmlich durch eine wirksame und angemessene Bestimmung ersetzen, die dem wirtschaftlichen Gehalt der ursprünglichen Bestimmung möglichst nahe kommt.

EULA for Setup of the VEGA DTM(s)

Terms of use for VEGA Device Type Manager ("Software product").

§ 1 Scope of application

This End User License Agreement ("EULA") is a legal contract between you (either as a natural person or a corporate entity) and VEGA Grieshaber KG, Schiltach ("VEGA"), for the use of the software product. By installing, copying or otherwise using the software product, you agree to be bound by the terms of this User Agreement. If you do not agree to the terms of this User Agreement, do not install the software product.

§ 2 Subject matter

VEGA Device Type Manager (DTM) consists of the actual software and the corresponding documentation such as user manual, online help, etc. ("Software product"). The software product is protected by copyright law and international copyright treaties, as well as other intellectual property laws and treaties. The software product is not sold - it is only made available for use.

§ 3 Usage rights

- The software product can be obtained as a free version with full functionality.
- You are entitled to permanently transfer all your rights under this user agreement, but also to revoke the transfer of those rights. The prerequisite is that you transfer the complete software product (including all components, data carriers and printed material) and that the recipient agrees to the terms of this user agree-

ment. You are also required to make a written agreement with the third party that complies with the terms of this agreement. You are obligated to comply with any export requirements mandated by all applicable laws and regulations. You indemnify VEGA against all third-party claims arising from a violation of this regulation.

§ 4 Restrictions on use

The software product may only be used in accordance with the terms of this EULA. In particular, you are not authorised to (i) modify, adapt, extend, reverse engineer or translate the software, (ii) extract parts, (iii) or attempt to derive or decipher the source code, (iv) remove, alter or obscure proprietary notices (including copyright notices or trademarks) of VEGA or its affiliates or partners, or (v) rent or lease the software.

§ 5 Violation of rights of use

Irrespective of other rights, VEGA is entitled to terminate this usage agreement and to prohibit you from using the software product if you violate the terms of this EULA, in particular the agreed usage rights and restrictions. In such case, you are obliged to destroy all copies of the software product and all of its components, in particular the software product certificates, and to provide VEGA with proof of this.

§ 6 Transfer of risk with electronic communication media

When software is transferred via electronics communication media (for example and in particular via the Internet) the transfer of perils to the buyer takes place when the software leaves VEGA's sphere.

§ 7 Liability for defects

- If VEGA provides the software product on a data carrier, VEGA will replace it with a defect-free copy in case of obvious defects.
- The software product is considered defective if you can prove there are significant, reproducible deviations from the associated documentation.
- A rectification of defects is usually effected by delivery or provision of a new product version (update/upgrade).
- Fault diagnosis and rectification within the scope of the warranty are carried out at VEGA's discretion either at your premises (on site) or at VEGA's premises. You provide VEGA with the documents and information required to remedy the defect. If the defect is to be remedied on site, you provide the required hardware and software as well as the necessary operating conditions with suitable operating personnel free of charge so that the work can be carried out quickly.
- If it cannot be proven there is a defect, VEGA can demand compensation for the work involved in examining and checking the software.
- You must take all appropriate measures to prevent or limit further damage resulting from a defect in the software product, including notifying VEGA of the defect immediately and backing up your data, especially data that has been entered or is yet to be processed.
- The warranty period for software products is 12 months. The period begins at the time of the transfer of risk. The warranty period for the master copy applies to copies made by you.

§ 8 Loss of data

If data is damaged due to a defect in the supplied software, the obligation to pay compensation does not include the cost of recovering lost data and information.

§ 9 Supplementary provisions

In addition to the conditions stipulated in this EULA, the use of the software product is subject to VEGA's general terms of delivery. You can find these on the Internet at www.vega.com/agb. In the event of any discrepancy or contradiction, the terms of this EULA shall govern the use of the software product.

If individual provisions of this EULA are found to be legally void, this does not affect the effectiveness of the remaining provisions. The contracting parties shall by mutual agreement replace the invalid provision with an effective and appropriate provision that comes as close as possible to the economic intent and purpose of the original provision.

Printing date:

VEGA

センサー及び評価システムの配達範囲、使用目的、取り付け、運転条件に関する説明は、印刷時点の 情報に応じたものです。
変更を保留

© VEGA Grieshaber KG, Schiltach/Germany 2025

28243-JA-250926

VEGA Grieshaber KG
Am Hohenstein 113
77761 Schiltach
Germany
電話 +49 7836 50-0
電子メール: info.de@vega.com

www.vega.com